

対象国保健分野における開発ニーズ(課題)

- デング熱、チクングニア熱など感染症等の有病率および関連する疾病による死亡率が高い
- 化学殺虫有効成分を主成分とした殺虫剤に抵抗性を持つボウフラの出現
- 現行の蚊媒介感染症対策は感染者が出た後に殺虫剤を散布する事後対応が主であり、十分な効果が得られていない

提案製品・技術

ボウフラ殺虫剤「MOSNON TB」

- 微生物が産生したタンパク質が殺虫成分であり、薬剤抵抗性がつきにくい
- ボウフラのみに作用し、水生生物への影響が少ない
- 水中で徐々に自然分解されるため、環境への負荷が少ない
- 感染流行前からの効果的な薬剤散布計画立案を可能にする感染症流行予測システムを組み合わせることで、付加価値を高める

案件概要

- 契約期間: 2024年7月～2027年1月
- 対象国・地域: パラグアイ国アスンシオン市
- 相手国実施機関: 厚生省国立感染症撲滅サービス局 (SENEPA)
- 案件概要: 微生物殺虫剤による化学殺虫剤抵抗性蚊の制御に関する普及・実証・ビジネス化事業。本事業後に気象予測による蚊媒介感染症流行予測及び微生物殺虫剤MOSNONのビジネス展開を図り、ひいてはパラグアイ国の化学殺虫剤抵抗性蚊の出現の抑制によるデング熱、チクングニア熱を含む蚊が媒介する感染症患者の減少への貢献を目指す。



MOSNON TB(ボウフラ殺虫剤・微生物製剤)

開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- 販売代理店を通じた提案製品の販売
- 主な顧客はパラグアイ国の感染症対策管轄機関(厚生省・国立感染症撲滅サービス局:SENEPA)
- 感染症流行予測システムを活用した、効果的な散布計画の作成と実施支援
- パラグアイ国での製造拠点確保による競争力強化とメルコスール加盟国への域内輸出によるビジネス継続性の強化

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- 蚊媒介感染症の有病率および関連する疾病による死亡率の低下
- 化学殺虫剤抵抗性蚊の出現の抑制
- 感染流行予測による効率的・効果的な蚊媒介感染症対策の実現